

今月の巻頭言、爲政大幾先生の dermatologic oncologist のお話を興味深く拝読しました。皮膚癌治療のなかでも特に最近の薬物療法の進歩は著しく、十分な訓練を積んだ専門家でない適切な治療を提供できない状況にあります。このようななかで、皮膚癌治療の専門家を育成しようという爲政先生の取り組みは高く評価されるべきでしょう。

癌に限らず、最近の治療法の進歩は目覚ましいもので、多くの難治性疾患・病態を扱うことが可能となりつつあります。分子標的薬を代表とするこれら新規治療の実施においては、投与前の十分な検査と評価、薬剤の選択、dose と投与スケジュールの決定、効果と副作用のモニタリング、副作用対策、併用療法の選択などが必須で、そのためには多岐にわたる専門的な知識が必要です。いかに研鑽を積んだ専門家といえども、一人でこれらすべてを完璧に実施することは容易ではなく、また実際の薬剤の取り扱いにおいては看護師、薬剤師などの役割も大きくなります。すなわち、複数の医師に加え、多職種のコメディカルを含むチーム医療が必要となります。そのうえで相互にダブルチェック、トリプルチェックを行い、人為的なミスを防ぐ体制を整えなくてはなりません。

学生時代に熱力学の講義でカルノーサイクル (Carnot cycle) というものが出てきて、その現実離れした熱力学理論に面食らい、理解するのに大変苦労した記憶があります。そこでエントロピーという概念が持ち出され、これもなかなか難しいものでしたが、有名な熱力学第二法則「断熱系におけるエントロピーは常に増大する」というのは何となく分かったような気がしました。

エントロピーを単純に「乱雑さ」「多様性」などという言葉に置き換えるのは必ずしも正しくないようですが、私たちをとりまく社会状況が年々複雑化しているさまは、まさしくエントロピー増大則に従っているように見えます。医療の高度化、複雑化もその流れの一つとみてよいでしょう。一人の人間で処理できる情報量には限りがあり、クリニカルパスの導入やチームによる多重チェックによって人為的なミスを防ぐ方策が考えられていますが、それでも人間である限りどうしてもミスはです。

医療現場において増大するエントロピーが、人間の処理できる限界を超えるとすれば、それを解決する唯一の方法はAIの導入でしょう。未来のAIならば、どんなに複雑な状況でも最新の医学知識をもとに適切に判断し、最適な治療方法を選んでその実施手順を含めて詳細に提示するでしょう。そうなれば人間の医師はめでたく御用済みとなり、日々遊んで暮らせるユートピアになるのか、それとも機械の奴隷となって映画「ターミネーター」が描くような地獄になってしまうのか、大いに気になるところです。

(相馬良直)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第61巻 第13号 12月号

2019年12月1日発行 (毎月1回1日発行)

定 価 (本体 2,700 円 + 税)

年間購読料金 定価 (本体 42,100 円 + 税)

[年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発 行 所 金原出版株式会社

発 行 者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印 刷 所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。